

すい臓がん早期発見！市民講演会を開催します！

／ いま注目 横浜市の ／



すい臓がんは生存率が低いと言われますが、がんの大きさが1cm以下のうちに見つけることができれば、治療の効果が高くなることがわかっています。そこで横浜市では、すい臓がんをできるだけ早く見つけて治療につなげることを目的に、令和4年度から「横浜市すい臓がん早期診断プロジェクト」を実施しています。

このプロジェクトの一環として、昨年と今年7月に開催し大変好評をいただいた市民向け講演会を、12月に以下の日程で開催します（今回で3回目）。

講演会概要・申込方法

日 時：令和7年12月10日（水）

14時から15時30分（開場13時30分）

会 場：港南公会堂

横浜市港南区港南中央通10-1

最寄り：横浜市営地下鉄港南中央駅 徒歩1分

参加費：無料

対 象：横浜市内在住、在勤の方

定 員：先着450名（定員になり次第受付終了）

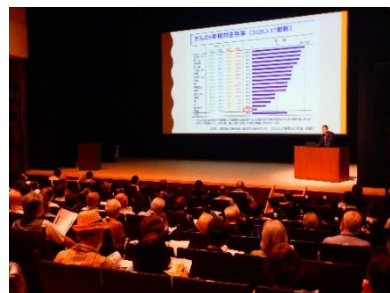
講 師：独立行政法人国立病院機構横浜医療センター消化器内科 医長 ^{すずき}鈴木 ^{まさと}雅人医師
社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市南部病院消化器内科 主任部長 ^{すぎもり}杉森 ^{かずみ}一哉医師

講演会内容（予定）：プロジェクトの紹介、すい臓がんの一般知識、検査方法等

申 込：下記横浜市電子申請フォームから

受付開始は11月11日（火）9時から。申込みは一人ずつ申請が必要です

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/e5a1d16c-7a8e-4d90-9e2b-7714ff2a0e78/start>



（令和7年7月開催市民講演会の様子）



※当日取材を希望される場合は12月9日（火）15時までに裏面お問合せ先にご連絡ください

（裏面あり）



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(参考) 横浜市すい臓がん早期診断プロジェクト

まずは身近なクリニックや診療所にご相談いただき、診察・検査ですい臓がんの危険因子があると診断された方は、プロジェクト実施病院へ紹介され、より詳しい検査を受けることができます。

プロジェクトの流れのイメージ



<以下の危険因子がある方は身近な医療機関へ>

- ・すい臓がんにかかった血縁者がいる・糖尿病と診断された、増悪した人
- ・慢性すい炎と診断された人・すいのう胞がある
- ・大量飲酒習慣のある人・喫煙習慣のある人
- ・BMI30以上の肥満、または過去に肥満であった人

<プロジェクト実施病院>

済生会横浜市東部病院・横浜労災病院・国立病院機構横浜医療センター
横浜市立大学附属病院・市民総合医療センター・昭和医科大学藤が丘病院
済生会横浜市南部病院

全国平均では、すい臓がんがステージ0～Ⅰの早期段階で発見される割合は約25%であるのに対し、ステージⅣの進行がんで発見される割合は約45%と高く、早期発見の割合は低い状況です。

しかし、令和6年度のプロジェクト(7病院)では、ステージ0～Ⅰで発見された割合が37%、ステージⅣは18%となっており、全国平均と比較して早期がんの発見率が高く、進行癌での診断率は低くなっています。

<参考データ>

プロジェクト(7病院)の
令和6年度実績 紹介患者数1,039名
(ステージ別発見数)

	Stage	件数	割合	
早期がん	0	1	2%	37%
	Ⅰ	20	35%	
	Ⅱ	17	30%	
	Ⅲ	9	16%	
	Ⅳ	10	18%	
	総数	57		

すい臓がん ステージ別の割合(全国集計)
2023年 0～Ⅰ期の割合 25%

Stage	割合
0	0%
Ⅰ	25%
Ⅱ	10%
Ⅲ	11%
Ⅳ	45%

【出典】

国立がん研究センター「院内がん登録2023年全国集計 Ⅳ.腫瘍結果詳細」
UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布
(対象例10例以上の732施設)

ステージ分類の基準：日本膵臓学会「膵癌取り扱い規約」

お問合せ先		
医療局がん・疾病対策課長	三室 直樹	Tel 045-671-2957



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

